



常議員立候補のご挨拶

安 高 史 朗

この度、PA 会からご推薦を頂き、日本弁理士会役員定時選挙において常議員に立候補させていただくことになりました安高史朗（あたかしろう）です。日頃より大変お世話になっている PA 会からご推薦を頂きましたこと、非常に光栄に存じます。この場をお借りして会員の皆様に御礼申し上げます。

実は私が PA 会に入ったのは比較的最近で、弁理士登録から 10 年以上経過してからのことでした。それまでは会派というものを、選挙のためのものだろうと敬遠してきました（最近の合格者にはそのように感じる方も一定数いらっしゃるのではないかと思います）。しかし、事務所を経営し、委員会の役職を務めていく中で、所属の枠を超えた横のつながりを持ち、様々な調整機能を持つことができる会派の重要性に気づき、参加をさせていただきました。

会派に入る際には、いくつかの会派の方にヒアリングをさせていただき、会員数の多さにも関わらず柔軟性の高い PA 会を魅力に思いました。この選択は間違っていなかったと考えています。PA 会では、私の得意分野を活かして、広報部会を新たに立ち上げ、X の運用や HP のリニューアルなどで、情報発信と会員同士のコミュニケーションの増加を目指して活動しております。

私の経歴についても簡単に自己紹介をさせていただきます。大学で物理を学んだ後、特許庁に入庁しました。入庁 3 年目の年（免除の資格を得る前）に弁理士試験を受け、入庁 4 年目の 3 月末（審査官補から審査官に昇任する前日）に転職をしている変わり種です。

野村総合研究所に転職し、当時の NRI サイバーパテントに出向、知的財産に関するコンサルティング

業務を経験しました。今で言う IP ランドスケープの走りのような業務を中心としておりました。その時代に公認会計士資格も取得しております。弁理士と公認会計士のダブルライセンスは、日本では 3 名ほどしかいない珍しい組み合わせとなっております。

その後、ヤフー株式会社にて知財部業務を経験した後、独立開業し、現在は IP Tech 弁理士法人という、IT に特化しスタートアップに注力した 30 名ほどの特許事務所を経営しております。YouTube や X、コラムやブログ等での情報発信を行い、進歩性の勉強会なども主宰しております。

現在はスタートアップ支援に力を入れており、特許庁が企画しているスタートアップ支援企画のメンターやアワード選考委員、日本弁理士会の知的財産経営センター運営委員としてスタートアップ支援イベントの企画実行、関東会の中小・スタートアップ支援委員会でのスタートアップ支援部会長を経ての担当役員などをやらせていただいております。

昨今のスタートアップの台頭や生成 AI の技術進化など、環境に大きな変化がある中で、弁理士業界にもそれに対応する進化が求められていくだろうと思います。伝統を大事にしながらも変化を恐れずに時代に合わせて進化していく、そういう風に弁理士業界がこれからも発展していけるように、何かしらの力になりたいと考えております。

最後になりますが、ご推薦頂いたことに重ねて感謝いたしますとともに、常議員に当選させていただきましたら、日本弁理士会、PA 会の会員の皆様のために、微力ではありますが、精一杯励む所存でございます。皆様方のご指導とご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

（文書責任者：坂本智弘）